

警 防

令和5年度のできごと

令和6年能登半島地震に緊急消防援助隊として出動

令和6年1月1日に石川県能登地方で発生した最大震度7の地震に対し、緊急消防援助隊滋賀県大隊における代表消防機関として22隊87名が出動し、甚大な被害を受けた珠洲市において、計10日間の活動を行いました。

滋賀県大隊は1月1日のうちに石川県内へ到着しましたが、能登地方に向かう主要道路の寸断により陸路での移動が困難であったことから、自衛隊と協力し、海路及び空路も活用して被災地に進出しました。



被災地において救助・検索活動及び救急活動を実施

被災地では多くの建物が倒壊していましたが、悪路により消防車両が容易に近づけず、保有資機材が有効に活用できない状況でした。

このような厳しい状況の中、滋賀県大隊は他機関とも連携を図りながら、安否不明者の情報を基に珠洲市内の各地域に出動し、合計397件の救助・検索活動を実施しました。

また、救急車の要請も多発していたことから、救急隊が合計31件の救急事案に出動し、28名を搬送しました。



厳冬期での現場活動

活動期間中には寒波の影響で積雪があり、足元や屋根に蓄積した雪に注意しながら活動を行いました。また、宿営地では気温が低い中、屋外にテントを設置して宿営活動を行うなど、自然環境的にも厳しい状況が続く活動でしたが、出動した全員が無事に大津市まで帰隊することができました。

今回の災害派遣を踏まえ、大規模災害時における応援及び受援体制の更なる強化に努めてまいります。



救急出動件数が過去最多を更新

令和5年中の救急出動件数が20,795件となり、2年連続で過去最多を更新するとともに、初めて2万件を超えました。主な要因は、高齢化の進展や新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことに伴う社会認識の変化等によるものと考えられます。

また、搬送状況を見ると、搬送された方の約70%が軽症と診断され、入院の必要がなく診察後すぐに帰宅されています。

こうした現状から、消防局では市民の皆様にも更なる「救急車の適正利用」を呼び掛けるとともに、消防指令センターを中核として臨機に配置転換を行うなど、限られた救急資源を効率的に活用し、万全の対応を継続してまいります。



はしご車の更新

東消防署のはしご車(30m級・先端屈折式・伸縮水路管付)を更新し、運用を開始しました。

新しい機能として、バスケットに設置されているスーパーインポーズカメラの映像が、基部操作部の液晶画面に加え、離れた場所でも確認できるようタブレット端末での受信を可能としました。

また、リフトバッテリー自動充電装置を搭載しており、車両の管理の面においても改良されています。



救助工作車の更新

南消防署の救助工作車を更新し、運用を開始しました。最大の特徴は、従来の車両とは違った新型キャビンを採用したことで、後席の窓ガラスが大きくなり視認性が向上し、展開ステップによる乗降性も向上しました。さらに室内高が約1.9メートル確保されているため、室内での作業性、資器材の収納スペースなどの機能性も大幅に向上しました。

資器材については、大型油圧救助器具、切断機や鉄線カッター、各種携帯救助用具にも互換性を持たせたバッテリー式を採用しました。

資器材収納庫も、大型展開扉を採用したり、引き出しや棚を工夫するなど収納力をアップさせました。



出動状況

■ 消防自動車の出動状況

[令和5年中]

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	件数	12	7	15	3	5	5	6	10	7	8	8	10	96
	車両	72	29	120	16	35	40	42	27	69	50	27	69	596
	人員	214	82	347	53	105	115	122	78	199	147	77	198	1,737
救助	件数	18	14	21	32	19	25	27	32	20	22	14	25	269
	車両	81	63	100	138	93	130	153	202	112	119	63	111	1,365
	人員	230	179	287	415	269	361	413	540	306	341	179	316	3,836
警戒	件数	1	2	6	1	1	5	5	6	2	4	7	2	42
	車両	5	8	28	3	3	22	18	22	8	15	24	6	162
	人員	15	22	78	8	9	69	52	58	24	42	72	17	466
偵察	件数	4	8	10	9	11	11	9	17	7	11	12	14	123
	車両	12	25	28	27	34	33	27	54	22	43	37	42	384
	人員	33	71	79	78	101	90	76	149	60	131	100	113	1,081
水防	件数					2			1					3
	車両					6			1					7
	人員					14			3					17
救急支援	件数	120	76	74	82	93	68	63	86	78	80	87	110	1,017
	車両	247	159	161	173	201	144	140	190	160	171	187	227	2,160
	人員	771	472	476	537	605	439	413	558	480	519	557	679	6,506
訓練	件数													-
	車両													-
	人員													-
その他	件数	12	16	26	21	22	12	24	29	20	41	32	24	279
	車両	34	46	59	64	90	31	74	108	52	124	129	47	858
	人員	105	132	170	193	280	91	216	311	149	376	384	136	2,543

■ 消防艇の出動状況

[令和5年中]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災													-
救助					2	1	5	6	1	2			17
警戒													-
警備													-
訓練													-
調査													-
誤報													-
依頼													-
その他							1	2					3
合計	-	-	-	-	2	1	6	8	1	2	-	-	20

水利状況

■地区別消防水利の状況

[令和6年4月1日現在]

学区別	種別	消火栓			防火水そう					プ ー ル	池 等	河 川 等	そ の 他	琵琶湖基準水位 ±0cm		
		計	150mm 以上	150mm 未満	計	100t 以上	60～ 100t	40～ 60t	20～ 40t					消防車		消防艇
														水利 箇所	延長 (m)	活動範囲 延長距離 (m)
北消防署 計		1,821	608	1,213	206	2	10	189	5	38	68	35	25	41	4,479	27,000
	小松	246	72	174	16	-	-	16	-	7	8	-	5	7	1,140	8,000
	木戸	216	60	156	27	-	1	25	1	5	5	1	11	4	630	5,000
	和邇	238	33	205	26	-	-	26	-	4	20	3	3	6	1,360	7,500
	小野	61	24	37	7	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
	葛川	95	23	72	11	-	1	9	1	1	-	13	1	-	-	-
	伊香立	181	33	148	35	1	2	31	1	6	5	6	1	-	-	-
	真野北	64	38	26	14	-	-	14	-	2	-	-	-	-	-	-
	真野	174	84	90	10	-	2	8	-	2	6	7	3	3	260	800
	堅田	311	129	182	15	1	1	11	2	5	22	5	1	21	1,089	5,700
	仰木	78	22	56	18	-	1	17	-	1	2	-	-	-	-	-
	仰木の里	76	47	29	11	-	-	11	-	3	-	-	-	-	-	-
	仰木の里東	81	43	38	16	-	2	14	-	1	-	-	-	-	-	-
中消防署 計		2,058	932	1,126	103	7	16	79	1	39	33	27	34	26	5,324	18,200
	雄琴	172	77	95	16	-	1	14	1	2	5	2	-	4	578	5,800
	日吉台	55	26	29	17	-	-	17	-	1	-	-	-	-	-	-
	坂本	271	97	174	7	1	1	5	-	3	1	8	6	-	-	-
	下阪本	202	65	137	6	-	1	5	-	3	6	4	1	6	316	4,000
	唐崎	286	122	164	10	1	3	6	-	4	2	-	1	2	300	2,600
	滋賀	273	102	171	10	2	1	7	-	4	3	-	5	2	540	1,200
	山中比叡平	63	33	30	5	-	1	4	-	3	-	1	1	-	-	-
	長等	153	106	47	5	-	3	2	-	6	7	3	3	4	760	1,800
	藤尾	102	40	62	8	-	3	5	-	2	-	3	-	-	-	-
	逢坂	141	72	69	6	1	-	5	-	2	-	-	1	-	-	-
	中央	101	67	34	2	1	1	-	-	2	3	1	10	3	1,000	1,100
	平野	239	125	114	11	1	1	9	-	7	6	5	6	5	1,830	1,700
南消防署 計		1,156	516	640	78	3	9	66	-	20	34	82	7	8	1,500	5,300
	膳所	237	124	113	9	2	1	6	-	3	8	5	-	7	1,500	2,800
	富士見	130	44	86	11	-	1	10	-	2	6	2	2	-	-	-
	晴嵐	273	125	148	10	1	1	8	-	5	8	29	3	1	-	2,500
	石山	175	75	100	8	-	1	7	-	4	5	6	2	-	-	-
	南郷	189	94	95	20	-	4	16	-	4	4	12	-	-	-	-
	大石	152	54	98	20	-	1	19	-	2	3	28	-	-	-	-
東消防署 計		1,294	514	780	162	2	14	143	3	22	79	35	6	1	400	400
	瀬田	200	60	140	24	-	3	20	1	4	11	1	1	-	-	-
	瀬田北	222	77	145	14	1	1	12	-	3	1	6	1	-	-	-
	瀬田南	240	89	151	23	1	2	20	-	4	11	7	1	1	400	400
	瀬田東	222	104	118	32	-	3	27	2	3	13	2	3	-	-	-
	田上	223	95	128	23	-	3	20	-	3	12	6	-	-	-	-
	上田上	86	33	53	11	-	2	9	-	3	20	9	-	-	-	-
	青山	101	56	45	35	-	-	35	-	2	11	4	-	-	-	-
総合計		6,329	2,570	3,759	549	14	49	477	9	119	214	179	72	76	11,703	50,900

■消防局事業による耐震性貯水槽の設置状況

消防水利は大規模な震災を想定し、消火栓に偏ることなく地域の実情に応じて耐震性を有する消防水利を配置することと国からの告示により定められており、当消防局でも調査及び設計、並びに設置に向けての事業を行っています。

[令和6年4月1日現在]

	40m ³	60m ³	100m ³	計
平成23年度	1	1	-	2
平成24年度	-	-	-	0
平成25年度	3	1	-	4
平成26年度	-	-	-	0
平成27年度	4	-	-	4
平成28年度	-	1	-	1
平成29年度	-	-	-	0
平成30年度	-	-	-	0
令和元年度	1	-	-	1
令和2年度	-	-	-	0
令和3年度	1	-	-	1
令和4年度	1	-	-	1
令和5年度	-	-	-	0
合計	11	3	0	14

■開発行為による消防水利の設置状況

都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、「大津市開発許可制度に関する基準」及び「大津市消防水利等設置基準」に基づき、消防水利の指導を行っています。

[令和6年4月1日現在]

	消火栓	防火水槽
平成23年度	8	5
平成24年度	20	5
平成25年度	10	2
平成26年度	8	4
平成27年度	13	8
平成28年度	14	3
平成29年度	11	9
平成30年度	19	2
令和元年度	19	3
令和2年度	20	10
令和3年度	14	9
令和4年度	13	0
令和5年度	22	2
合計	191	62

令和5年 救助概況

■ 事故種別出動件数・救助人員

項目	合 計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
出動件数(件)	383	62	46	20	28	-	4	128	-	-	95
救助人員(人)	176	4	25	14	24	-	2	85	-	-	22

■ 過去5年間 出動件数の推移

項目	合計	事故種別									
		火災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
令和元年	250	42	42	25	19	-	2	66	-	-	54
令和2年	290	53	33	27	33	-	1	85	-	-	58
令和3年	350	57	43	22	34	2	2	103	-	-	87
令和4年	328	53	48	24	39	-	6	86	-	-	72
令和5年	383	62	46	20	28	-	4	128	-	-	95

■ 大津市の水難事故、山岳事故の傾向について

水難事故 計20件	転落	遊泳中	レジャー	自損	不明	その他
	-	2	6	2	10	-

救助 人員	市内	市外	不明
	3	6	5

山岳事故 計28件	道迷い	転倒	滑落	急病	蜂刺され	その他
	9	3	4	4	-	8

救助 人員	市内	市外	不明
	3	21	-

■ 署所別発生件数

署所	合 計	事故種別									
		火 災	交通事故	水難事故	山岳事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠	破裂事故	その他
北消防署	56	12	7	3	5	-	1	16	-	-	12
北消防署志賀分署	57	11	9	9	11	-	1	5	-	-	11
中消防署	83	11	8	5	2	-	1	44	-	-	12
中消防署西分署	44	5	5	1	3	-	-	17	-	-	13
南消防署	57	10	3	-	1	-	1	19	-	-	23
南消防署南郷出張所	16	4	2	-	-	-	-	1	-	-	9
東消防署	66	9	11	2	4	-	-	26	-	-	14
名神高速道路等	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
その他の地域	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
合計	383	62	46	20	28	-	4	128	-	-	95

国際消防救助隊年間教育訓練実施結果

月 日	内 容	場 所
5月28・29日	国際消防救助隊連携訓練の伝達研修	中・南消防署
6月4・11・12・14日	新規配備のJDR携行資機材取扱訓練	中・南消防署
7月4日	解体予定施設を使用した想定訓練 (ブリーチング) 湖南広域消防局合同訓練	大津市内 解体予定建物
7月13・17・18・20日	技術習得訓練(クリビング、CSR、パッキング)	南・北消防署
9月26日	派遣シミュレーション訓練	消防局・中消防署
9月27日	解体予定施設を使用した都市型搜索救助訓練 (ショアリング、ロープ救助) 湖南広域消防局合同訓練	守山市内 解体予定建物
10月5日	解体予定施設を使用した技術習得訓練 (ロープレスキュー、ダーティブリーチング)	大津市内 解体予定建物
11月20日	全国消防長会東近畿支部 「警防業務研究会(IRT)」連携訓練参加	京都府京都市
11月22・27・29日 12月18日	技術習得訓練(ショアリング)	南・北消防署
1月23・24・25日	国際消防救助隊連携訓練参加	広島県広島市
2月19・20・21日	国際消防救助隊セミナー参加	全国市町村国際文化 研修所(大津市)
2月26・27日	大阪JDR連携訓練参加	大阪府堺市



水難救助年間訓練実施結果

月 日	内 容	場 所
4月・5月 (各署ごと複数回実施)	所属内研修 (活動要領確認、資機材保守点検要領確認)	各消防署
5月・6月 (各署ごと複数回実施)	各消防署管内水域での潜水検索救助訓練 (舟艇運航訓練、浮標設定訓練を含む)	各消防署 管内の琵琶湖
7月7・11・12・14日	深度水域における潜水検索救助訓練	近江舞子 中浜水泳場
8月4・7日	各種潜水検索要領の習熟訓練	松の浦水泳場
8月22・29日	隣接消防機関(湖南広域消防局)との合同訓練 (保有資機材の相互確認、潜水検索救助訓練)	琵琶湖大橋付近
9月4・13日	流水救助訓練 (基本技術及び安全管理知識の習得)	瀬田川
9月21・22日	流水救助訓練 (県内外消防本部、県外警察本部との合同訓練)	瀬田川
11月20・21・24・27日	ドライスーツによる潜水基礎訓練 (滋賀県警機動隊との合同訓練)	滋賀県警機動隊 潜水プール
1月23日・2月13日	潜水基礎訓練、溺者救助訓練	皇子山プール
2月8・21日	ドライスーツによる潜水検索救助訓練	近江大橋付近
2月22・27・28・29日	深度潜水技術の習熟訓練	近江舞子 雄松崎



消防車両等配置別性能状況

[令和6年4月1日現在]

所 属 名	名 称	車 名	登 録	ポンプ級別	形 状 等
消防局	局指令1	トヨタ	H20		乗用(3,000cc)
	局指揮1	トヨタ	H10		乗用(3,000cc)
	局指揮2	トヨタ	H24		4WD
	局広報1	日産	H21		ライトバン
	局装備1	ダイハツ	H28		軽バン4WD
	局査察1	スズキ	H24		軽バン4WD
	局バス1	日野	S63		大型バス(42名)
	局連絡1	トヨタ	R 5		ステーションワゴン(8名)
	局支援1	いすゞ	H25		支援車Ⅰ型
	楽器搬送車	三菱	H10		フラットバン(2.0t積)
北消防署					
本署	北はしご1	三菱	H15	A-2	はしご車30m級
	北救助1	日野	R 4		救助工作車Ⅲ型4WD
	北タンク1	日野	H20	A-2	タンク車(2,000L)4WD
	北ポンプ1	日野	H17	A-2	ポンプ車4WD
	北指揮1	トヨタ	H28		指揮車4WD
	北救急1	トヨタ	R 3		高規格救急車4WD
	北資材1	いすゞ	H27		トラック(2.0t積)
	北水害対策1	いすゞ	H31		津波・大規模風水害対策車
	北広報1	トヨタ	H16		ライトバン4WD
	北査察1	スズキ	H15		軽バン4WD
	北警防1	ヤマハ	H17		バイク50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ		B-3	可搬式
	小型動力ポンプ	シバウラ		B-2	可搬式
	救助艇	アキレス	R 5		9.9PS(トーハツ)
	救助艇	アキレス	H31		20.0PS(トーハツ)
	救助艇(高機能)	MST	R 2		30.0PS(トーハツ)
	小型特殊車両	Argo	H31		8輪バギー
志賀分署	志賀タンク1	日野	H25	A-2	CAFS付タンク車(2,000L)4WD
	志賀救急1	トヨタ	R 6		高規格救急車4WD
	志賀積載1	ダイハツ	R 6	B-2	小型ポンプ積載デッキバン4WD
	志賀資材1	いすゞ	H15		トラック(2.0t積)
	志賀広報1	日産	H17		ライトバン4WD
	志賀警防1	ホンダ	H15		バイク50cc
	小型動力ポンプ	トーハツ	H9	B-2	可搬式
中消防署					
本署	中はしご1	日野	H28		35m級先端屈折水路管付
	中救助1	日野	H19		救助工作車Ⅱ型4WD
	中タンク1	日野	H23	A-2	CAFS付タンク車(2,000L)4WD
	中ポンプ1	日野	R 5	A-2	CAFS付ポンプ車(600L)4WD
	中指揮1	トヨタ	H24		指揮車4WD
	中救急1	トヨタ	H28		高規格救急車4WD
	中資材1	三菱	H10		トラック(2.0t積)
	中広報1	トヨタ	H15		ライトバン
	中査察1	ダイハツ	H28		軽バン

所 属 名	名 称	車 名	登 録	ポンプ級別	形 状 等
	中警防1 小型動力ポンプ 救助艇	ホンダ トーハツ アキレス	H 4 H13	B-3	バイク50cc 可搬式 9. 9PS (トーハツ)
西分署	西ポンプ1 西救急1 西救急2 西資材1 西連絡1 西警防1 小型動力ポンプ	トヨタ トヨタ 日産 日産 ホンダ ヤマハ トーハツ	H22 R 4 H30 H 9 H27 H 2 R 5	A-2 B-2	高圧噴霧付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD 高規格救急車4WD トラック(1. 25t積) 軽バン4WD バイク50cc 可搬式
水上出張所	消防艇(おおつ) 搭載艇 水上連絡1 水上警防1	軽合金19T アキレス 日産 ホンダ	H27 H23 H29 H 6	8000L	小型船舶、ウォータージェット推進器 15PS(ヤマハ) 軽バン バイク50cc
南消防署					
本署	南はしご1 南化学1 南救助1 南ポンプ1 南指揮1 南救急1 南救急2 南資材1 南広報1 南査察1 南警防1 小型動力ポンプ 救助艇	三菱 日野 日野 日野 トヨタ トヨタ トヨタ 三菱 トヨタ ダイハツ ヤマハ トーハツ アキレス	H12 R 3 R 6 H25 H25 R 4 R 3 H11 R 6 H25 H16 H 4	A-2 A-2 A-2 B-3	24m級 化学車Ⅱ型CAFS付4WD 救助工作車Ⅱ型4WD CAFS付ポンプ車(600L)4WD 指揮車4WD 高規格救急車4WD 高規格救急車4WD トラック(2. 0t積) ステーションワゴン(8名) 軽バン4WD バイク50cc 可搬式 9. 8PS (トーハツ)
南郷出張所	南郷ポンプ1 南郷救急1 南郷広報1 南郷警防1 小型動力ポンプ	日野 トヨタ トヨタ ヤマハ トーハツ	R 5 R 2 H18 H 5	A-2 B-3	CAFS付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD ライトバン バイク50cc 可搬式
東消防署					
本署	東はしご1 東タンク1 東ポンプ1 東救急1 東資材1 東広報1 東査察1 東連絡1 東警防1 小型動力ポンプ	日野 日野 日野 トヨタ 日野 三菱 スズキ マツダ ヤマハ シバウラ	R 5 H24 R 4 R 5 R 6 H28 R 4 H 8 H 3	A-2 A-2 A-2 B-2	30m級先端屈折水路管付 CAFS付タンク車(2, 000L)4WD CAFS付ポンプ車(600L)4WD 高規格救急車4WD トラック(2.0t積) ステーションワゴン(8名) 軽バン ライトバン バイク50cc 可搬式
青山救急出張所	東救急2		R 2		高規格救急車4WD

車両種別一覧

消防ポンプ自動車 6台	水槽付消防ポンプ自動車 4台	救助工作車 3台
		
【中ポンプ1】	【志賀タンク1】	【南救助1】
高規格救急自動車 10台	はしご付消防ポンプ自動車 4台	化学消防ポンプ自動車 1台
		
【志賀救急1】	【東はしご1】	【南化学1】
指揮車 4台	消防艇 1艘	広報車 7台
		
【北指揮1】	【消防艇おおつ(愛称:湖都風)】	【南広報1】
資機材搬送車 7台	支援車 1台	他の車両・バイク 24台
		・ 小型動力ポンプ積載車 1台 ・ 小型特殊車両 1台 ・ 消防バス 1台 ・ 査察車 5台 ・ 連絡車 3台 ・ 楽器搬送車 1台 ・ バイク 8台 ・ 人員搬送車等 4台
【北水害対策1】	【局支援1】	

令和5年 救急概況

救急出動の状況

■出動件数

令和5年中における救急出動件数は20,795件で、前年の19,348件と比較して1,447件増加しました。また、1日あたりの平均出動件数は57.0件で、これは1時間に2.4件出動したことになります。

■搬送人員

傷病者搬送人員は18,682人で、前年の17,435人と比較して1,247人増加しました。

これは、市民の18.5人に1人が救急隊によって搬送されたことになります。

■活動時間

覚知(119番入電)から救急車が現場に到着するまでの平均所要時間は、9分47秒で、前年の9分43秒から4秒延長しました。

また、覚知から救急車が病院に到着するまでの平均所要時間は、34分43秒で、前年の36分02秒から1分19秒短縮しました。

令和5年救急概況表〔前年比較〕

区分	出動件数(件)			搬送件数(件)			搬送人員(人)		
	令和5年	令和4年	増減	令和5年	令和4年	増減	令和5年	令和4年	増減
合 計	20,795	19,348	1,447	18,587	17,346	1,241	18,682	17,435	1,247
火 災	62	60	2	13	6	7	13	6	7
自然災害	1	0	1	1	0	1	1	0	1
水難事故	28	25	3	8	7	1	8	8	0
交通事故	1,057	1,050	7	891	909	△ 18	944	961	△ 17
労働災害	146	137	9	139	129	10	141	130	11
運動競技	147	148	△ 1	138	142	△ 4	140	144	△ 4
一般負傷	3,375	3,038	337	3,132	2,792	340	3,146	2,796	350
加 害	54	51	3	38	37	1	41	38	3
自損行為	179	163	16	119	122	△ 3	119	122	△ 3
急 病	14,284	13,360	924	12,955	12,143	812	12,976	12,170	806
その他	1,462	1,316	146	1,153	1,059	94	1,153	1,060	93

過去5年間 出動件数及び現場到着と医療機関到着平均所要時間の推移

	出動件数		搬送件数		搬送人員		1日あたりの 出動件数	覚知から 現場到着までの 平均所要時間	覚知から 医療機関までの 平均所要時間
令和元年	17,879	件	16,284	件	16,420	人	49.0 件	8分48秒	32分34秒
令和2年	15,808	件	14,231	件	14,315	人	43.2 件	8分53秒	33分31秒
令和3年	16,531	件	14,841	件	14,922	人	45.3 件	9分13秒	34分26秒
令和4年	19,348	件	17,346	件	17,435	人	53.0 件	9分43秒	36分02秒
令和5年	20,795	件	18,587	件	18,682	人	57.0 件	9分47秒	34分43秒

■事故種別[傷病程度別]搬送状況

事故種別	死亡	重症	中等症	軽症	合計	割合
火 災	- 人	5 人	2 人	6 人	13 人	0.07%
自然災害	- 人	- 人	- 人	1 人	1 人	0.01%
水難事故	- 人	3 人	- 人	5 人	8 人	0.04%
交通事故	2 人	27 人	103 人	812 人	944 人	5.05%
労働災害	- 人	6 人	28 人	107 人	141 人	0.75%
運動競技	- 人	1 人	7 人	132 人	140 人	0.75%
一般負傷	5 人	92 人	569 人	2,480 人	3,146 人	16.84%
加 害	- 人	- 人	5 人	36 人	41 人	0.22%
自損行為	5 人	11 人	28 人	75 人	119 人	0.64%
急 病	103 人	294 人	3,482 人	9,097 人	12,976 人	69.46%
その他	- 人	28 人	1,079 人	46 人	1,153 人	6.17%
合 計	115 人	467 人	5,303 人	12,797 人	18,682 人	100.0%
割 合	0.62%	2.50%	28.39%	68.50%	100.0%	

死亡とは、救急隊が病院を引き揚げるまでに医師によって死亡と判断されたものをいう。
 その他とは、転院搬送等をいう。

■事故種別[年齢区分別]搬送状況

事故種別	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	割合
火 災	- 人	- 人	1 人	5 人	7 人	13 人	0.07%
自然災害	- 人	- 人	- 人	1 人	- 人	1 人	0.01%
水難事故	- 人	1 人	2 人	5 人	- 人	8 人	0.04%
交通事故	- 人	19 人	80 人	603 人	242 人	944 人	5.05%
労働災害	- 人	- 人	1 人	108 人	32 人	141 人	0.75%
運動競技	- 人	3 人	81 人	53 人	3 人	140 人	0.75%
一般負傷	- 人	173 人	141 人	548 人	2,284 人	3,146 人	16.84%
加 害	- 人	1 人	5 人	29 人	6 人	41 人	0.22%
自損行為	- 人	- 人	11 人	94 人	14 人	119 人	0.64%
急 病	6 人	667 人	332 人	3,282 人	8,689 人	12,976 人	69.46%
その他	18 人	22 人	8 人	292 人	813 人	1,153 人	6.17%
合 計	24 人	886 人	662 人	5,020 人	12,090 人	18,682 人	100.0%
割 合	0.13%	4.74%	3.54%	26.87%	64.71%	100.0%	

- ・ 新生児 生後28日未満
- ・ 乳幼児 生後28日以上 満7歳未満
- ・ 少 年 満7歳以上 満18歳未満
- ・ 成 人 満18歳以上 満65歳未満
- ・ 高齢者 満65歳以上

■救命率の推移

	搬送人員	心停止傷病者数	救命人員	救命率	救命手当施行率
令和元年	16,420人	278(43)人	28(7)人	10.1(16.3)%	55.5%
令和2年	14,315人	282(58)人	24(7)人	8.5(12.1)%	53.2(51.7)%
令和3年	14,922人	305(61)人	28(16)人	9.2(26.2)%	58.7(49.2)%
令和4年	17,435人	332(62)人	21(8)人	6.3(12.9)%	49.8(45.2)%
令和5年	18,682人	331(58)人	25(11)人	7.6(19.0)%	52.3(50.0)%

救命人員とは、1か月以上生存している人を指し、生存退院者や社会復帰者も含まれます。
救命手当施行率とは、心肺停止事故を目撃または発見した市民が、心肺蘇生法等の救命手当を実施していた率です。
()内は、心停止の原因が心原性で、かつ目撃があった傷病者を対象とした場合の値です。

■高度救命処置実施状況

救急救命士が実施した救急救命処置は、次のとおりです。

	心肺停止傷病者数 ※呼吸停止のみを含む	気道確保 (LT等)	気管挿管	除細動	静脈路 確保	アドレナリン 投与	CPA前 輸液	ブドウ糖 投与
令和元年	280人	108件	65件	17件	182件	93件	103件	32件
令和2年	295人	141件	54件	32件	139件	127件	67件	24件
令和3年	317人	207件	39件	33件	164件	136件	77件	33件
令和4年	348人	226件	38件	26件	191件	178件	94件	44件
令和5年	347人	189件	62件	35件	190件	186件	91件	46件

平成26年4月1日から救急救命士法施行規則の一部が改正され、心肺停止前の傷病者に対し、静脈路確保及び輸液、さらに血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与が可能となり、10月1日から運用開始しました。
CPA前輸液の件数には、ブドウ糖溶液投与にかかる静脈路確保実施件数を含みます。

■救急隊員の資格

[令和6年3月31日現在]

資格種別	救急救命士	救急科	救急Ⅱ課程	救急Ⅰ課程	合 計
人数	83 人	181 人	25 人	3 人	292 人

※上記は再任用職員を除いた人数

[令和6年3月31日現在]

認定等種別	気管挿管認定 薬剤投与認定	薬剤投与認定	救急救命士	合 計	左記のうち 指導救急救命士
救急救命士数	34 人	33 人	16 人	83 人	8 人
救急隊配置	27 人	19 人	3 人	49 人	7 人

■応急手当の普及

令和5年1月から令和5年12月までの実績は、次の表のとおりです。

講習種別	実施回数	修了者数
救命入門コース(90分コース) ()は、平成24年からの累計	143 回 (1,162 回)	4,529 人 (30,082 人)
救命入門コース(45分コース) ()は、平成24年からの累計	9 回 (137 回)	533 人 (6,923 人)
普通救命講習Ⅰ(AED講習・試験なし) ()は、平成18年からの累計	28 回 (2,612 回)	231 人 (68,453 人)
普通救命講習Ⅱ(AED講習・試験あり) ()は、平成18年からの累計	- 回 (450 回)	- 人 (7,620 人)
普通救命講習Ⅲ(主に新生児～小児を対象) ()は、平成24年からの累計	3 回 (215 回)	47 人 (3,405 人)
一般救急講習 ()は、平成6年からの累計	14 回 (1,437 回)	177 人 (5,5094 人)
上級救命講習 ()は、平成6年からの累計	2 回 (64 回)	11 人 (844 人)
応急手当普及員講習 ()は、平成6年からの累計	1 回 (34 回)	1 人 (160 人)
普通救命講習(平成6年～平成19年で終了)	(2,041 回)	(49,171 人)

※平成12～28年度は、市立中学校における保健体育授業に参画し普通救命講習を実施。

(平成28年度までの中学生受講者数は48,308人)

平成29年度以降は中学生に対する救命入門コース(90分コース)に移行。

※平成18年から普通救命講習は、普通救命講習Ⅰに移行。

※平成24年5月から、救命入門コース(90分コース)を開始した。

※平成26年度から市立小学校における保健体育の授業に参画し、一般救急講習を実施。

平成28年7月11日からは、これを救命入門コース(45分コース)と位置づけています。

※実施回数・修了者数は、応急手当普及員による開催を含みます。



【早い認識と119番通報】

【呼吸をみる】

【絶え間ない胸骨圧迫】

【早い電気ショック】

■[署所別]AED貸出し状況(令和5年中)

署 所	志賀分署	北消防署	西分署	中消防署	南消防署	南郷出張所	東消防署	合 計
件 数	2	6	0	9	6	0	6	29
割 合	6.9%	20.7%	0.0%	31.0%	20.7%	0.0%	20.7%	100.0%